

留学先大学： パリ第2大学
 留学先での所属学部・研究科： 法学・政治学部
 留学先での在籍身分： 交換留学生
 留学期間： 2012 年 9 月～ 2013 年 6 月
 神戸大学での所属学部・研究科： 国際文化学部
 学年（出発時）： 3年
 本報告書記入日： 2012 年 11 月 11 日

出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

主に以前にパリに留学していた先輩から生活や語学書等について教えていただきました。その他、必要書類等に関してはフランス大使館のHP、campusfranceのHP、パリ第2大学のHPも見ていました。

住居について

- ・住居のタイプ： 大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に） _____
- 住居（寮、アパート）の名前： Cité Universitaireのキューバ館
- ・部屋の種類： 一人部屋 二人部屋 その他（具体的に） _____
- ・ルームメイト： 現地学生 留学生（出身国： _____） その他（具体的に） _____
- ・どのように探しましたか。： 大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に） _____
- ・大学までの通学時間・手段： _____ 20分、
- ・住居の周りの環境はどうか。：

複数の寮がひとつの都市を形成しているようなところなので、学生、研究生ばかりで静かで過ごしやすいです。また学食や銀行、図書館、移民局等の留学生にありがたい施設がすぐ近くにあります。買い物、交通にも便利な立地です。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊をしたり、友人と外食をしたり、食事会があったりとさまざまです。食材はスーパーで買いますが、特に日本の調味料はオペラの日本人街や13区の中華街で購入します。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

パリ第2大学の担当者の方が斡旋してくださったのですが、部屋が決まったのが7月末だったので、ビザの住居証明のこともありそれまで不安でした。また、その後も寮への登録の際に理解の行き違いがあり、一度部屋をキャンセルされかけました。大学の担当者の方がすぐに対処してくださり、今は無事に住めています。

大学の授業について

1. 履修登録について

- ・履修登録の時期： 出発前 到着後
- ・履修登録の方法： On-line International Office等の仲介 その他（具体的に） _____
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。： 無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。： はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習, 復習, テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	sociologie de médias	Mme Géraldine MUHLMANN	3時間	4	20名ほ ど	テストはオーラルで、教授の質問に対しその場で答えるという ものです。その他に1人1度の発表が割り当てられているので、事 前に本を読み20分ほどで発表をします。
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

大講義室での講義形式、小教室での講義形式、TDというゼミ形式の授業があります。今期は私はフランス語に専念するため、正規の授業は少なくし、フランス語の授業を多くとっていますが、現地学生は朝から晩まで授業が詰まっている様子です。また、留学生であることを気にかけてくれる学生もいますし、他の国からの留学生もたくさんいるので心配していたほどではないです。ただ、授業はレジュメ、パワポ等なしですべて教授の口頭で行なわれるため、ついていくのは非常に大変です。

一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00							
9:00						ベビーシッ ター	
10:00							
11:00							
12:00							
13:00	授業開始						
14:00		授業開始					
15:00							
16:00				授業開始			
17:00	授業終了						
18:00		授業終了					
19:00	フランス語 会話				フランス語 会話		
20:00							
21:00				授業終了			
22:00							

現在までの感想 自由に記入してください。（800字〜）

まず、ビザの習得に本当に苦労しました。出国予定の2〜3か月ほど前から準備を始めましたが、書類が揃いざ予約！と思ったものの、1か月先まで予約がいっぱいで（8月、9月はとても混雑します）仕方なく出国日を遅らせ、大学が始まるぎりぎりに着けるか着けないか、という感じでした。大使館で申請した後も間に合うのか不安でたまらない3週間を過ごしました。お金と手間と不安が余計にかかってしまうので、ビザの準備だけは本当に十分すぎるくらい事前に行なうべきだと思います。私の場合は結果的に飛行機の便を2度変更し、ビザが届いた翌日に出発、その翌日にパリ2の留学生オリエンテーションに参加、という慌ただしいことになってしまいました。

渡航後は特に大きな問題もなく生活できています。「パリの人間は冷たい」「心を強く持つて」ということを渡航前に聞いていたため、身構えていましたが、それほど嫌な人には会っておらず、友達もみんないい人ばかりです。

ただ、フランス語はもっと勉強してくるべきだったと思います。言いたいことが言えず、相手の言うことが分からないと結構なストレスになります。特にパリの人々はとても早口なので、聞きとるのがとても大変です。英語を話せる人は多くいますし、日本語を話せる人もいたりするのでそちらでコミュニケーションをとることもできますが、逆にその点に甘んじるといつまでもフランス語が上達しないので注意しなければと思っています。

またフランス語の勉強のためにはフランス人と話すのが一番よいと言われますし、その通りなのですが、他の国からの留学生の友達をつくることもとても大事だと思います。彼らもフランス語に苦労しているので一緒に学べますし、観光地に遊びに行きたいときに、留学生の友達がいると一緒に行くことができます。

現在こちらに来て1ヶ月半ほどですが、最近では学校にも慣れてきて生活のリズムが形成されつつあります。生活に慣れるのはいいことなのですが、パリでは毎日どこかで学術、芸術、遊び、料理と何かしらのイベントやチャンスが転がっています。行事も頻繁に行なわれています。自分からアンテナを張り、外へ意識を向けていないと毎日を無為に過ごしてしまいます。せっかくパリにいるんだから！と自分に言い聞かせ、市場や映画祭に出かけるように意識しています。

あと、いろいろな人種が混じり合い、移民も留学生も観光客もごちゃまぜになった街なので、日本にいるときよりも当然人種問題や自分が外国人であることを意識させられます。フランス人は、住宅補助を受け取るためにフランスに移り住む人々とその政策に対し、フランス人の生活も苦しいのになんで移民にお金をあげるの！と怒っていたり、道を歩いているとニーハオニーハオ！と声をかけられることも時々あります。

そして、危機意識に関しても日本の感覚ではいけないと感じます。夜や早朝にひとりで行動するのは危険ですし、特にメトロやRERはひとりの時は日中しか利用しないほうが無難です。とはいえ、怖がり過ぎても楽しくないのでその点は意識しつつ楽しんでいきます。友人宅で何かパーティーがあるときはたくさん人が集まり、いろんな人と知り合えるのでとても楽しいです。毎日がとても早く過ぎていき、あっという間に帰国日がくるだろうと感じているので、一日一日無駄にせぬよう過ごせればと思っています。